

ス 慈 川

矢祭町立矢祭中学校

学校だより No. 14

<教育目標>

(徳)豊かな心を持ち 共に伸びる生徒
(知)すすんで考え 学び方を身につける生徒
(体)心身共に健康で たくましく生きる生徒

<スローガン>

◇ 友垣の花を咲かせる学校
◇ 羽ばたく力を育む学校

<発行日>

平成25年 1月 8日(火)

<発行責任者>

校長 阿久津 光俊
(TEL) 46-2034



明けましておめでとうございます。

例年になく厳しい寒さが続いた冬休みが終わり、第3学期がスタートしました。

第3学期には極めて大切な2つの意義があります。

1年間のまとめ

1つめは、年度のまとめをしっかりと行うことです。卒業や進級に向け、やるべきことの「やり残し」や「先送り」がないように努めていきます。と同時に、生徒に対しても、同様に繰り返し指導していきます。

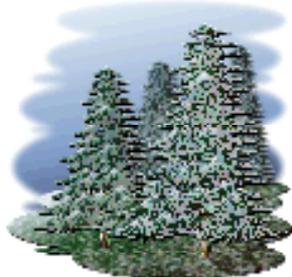
特に、3年生については、義務教育のまとめをしっかりと行い、目指す進路の実現と進路先で適切な対応がとれるよう指導・支援を行います。

新年度の準備・計画

2つめは、新年度の準備・計画です。まとめをしっかりと行うとともに、4月からの準備・計画に万全を期す必要があります。学校では、様々な場面での反省をもとに、改善を行います。

1・2年生の生徒の皆さんには、4月に進級したイメージを浮かべながら、自分自身を磨き、高めるための準備に取りかかる大切さを指導していきます。

第3学期は、登校日が51日(3年生は45日)と短いです。その中で、まとめと準備・計画をしっかりと行っていくしますので、どうぞよろしく願いいたします。



第3学期始業式から

始業式では、校長式辞に続き、生徒代表による「3学期の抱負」の発表がありました。

下記の生徒代表3名は、第3学期にかける決意や目標など、自分の言葉で力強く発表できました。

- 1年 鈴木 葵
- 2年 菊池奏多
- 3年 高澤 翔



校長式辞では、箱根駅伝で実に30年ぶりに総合優勝を果たした日本体育大学の復活への取組を例に、目標を持って本気で努力する大切さ、それが確実に成果となって現れるため、みんなで「当たり前」の事を当たり前に行う大切さなどについて話をしました。

あいさつが元気よくしっかりできること、時間を守ること、まじめに掃除を行うこと、身だしなみを整えること、授業を真剣に受けること等は、これまでも話してきましたが、これらのことが今以上に平然と当たり前に行えるようになると、あらゆる面でより大きな成果が期待できることを改めて話しました。

新生徒会役員の名

第13号でお知らせしたとおり、昨年末に新生徒会役員が決定しました。

第3学期の始業にあたり、その任命を行いました。新しいリーダーとして、力を合わせ、生徒会をよりよい方向へと導いてくれることを大いに期待しています。(新役員氏名は第13号に記載済み)

表彰

- 福島県サッカー協会 第3種優秀選手
松本 哲弥 (3-3)
- 第4回インフィニティカップ
バレーボール大会 第3位